

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

## 事業名 ぎふの木育教材導入支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部恵みの森づくり推進課木育推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3035)

E-mail： c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,000 千円 (前年度予算額：3,800 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,800	0	0	0	0	0	3,800	0	0
要求額	4,000	0	0	0	0	0	4,000	0	0
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県では、「ぎふ木育30年ビジョン」(平成24年度策定)の実現に向け、森林に誇りと愛着をもち、森林に対して責任ある行動をとることができる人材を育成するため、森と木からの学び「ぎふ木育」を推進している。

将来を担う子ども等が木に触れあい親しみ、森林に対する理解を深めるため、木育教材の導入を支援し、ぎふ木育の段階的・継続的な取組みを推進する。

## (2) 事業内容

子ども等への普及啓発効果の高い、岐阜県産材を活用した木のおもちゃや木製品キットを導入し、木育に取り組む市町村、学校法人等に対して支援する。

○補助対象：市町村、学校法人、社会福祉法人、NPO法人等

○補助対象及び補助率並びに補助限度額：

- ・木のおもちゃ等の導入経費の1/2以内(上限100千円/施設)以内
- ・木製品キットの導入経費の1/2以内(1キット当たり3千円を補助対象経費の上限)
- ・ぎふ木育教室を実施する場合、木育教材の導入経費の10/10(導入費用が20千円を超える部分は1/2)以内(1キット当たり3千円を補助対象)

経費の上限)

- ・ぎふ木育ひろば認定時、木育教材等の導入経費の 10/10 以内（上限 100 千円／施設）。地域支援拠点認定時、木育教材等の導入経費の 10/10 以内（上限 200 千円／施設）

### （３）県負担・補助率の考え方

県 1/2 以内（ぎふ木育教室実施時及びぎふ木育ひろば等認定時 10/10 以内）  
幼少期からの持続的な体験が大切であり、「ぎふ木育」の取組み効果を高める木育教材の導入費用を県として負担することは妥当。

### （４）類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,000	市町村、学校法人、社会福祉法人、NPO 法人等 60 施設
合計	4,000	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （１）各種計画での位置づけ

第 4 期岐阜県森林づくり基本計画

ぎふ木育 30 年ビジョンの実現に向けた「ぎふ木育」の新たな展開

### （２）国・他県の状況

同様の事業は国にはない。

### （３）後年度の財政負担

第 3 期清流の国ぎふ森林・環境税の課税期間である令和 8 年度まで、税収に応じ事業を実施。

### （４）事業主体及びその妥当性

「ぎふ木育 30 年ビジョン」の実現に向けた取組みを促す主体として妥当。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	ぎふの木育教材導入支援事業
補助事業者（団体）	市町村、学校法人、社会福祉法人、一般社団法人、医療法人、子育て関連のNPO法人等 （理由）普及啓発効果の高い事業実施主体であるため。
補助事業の概要	（目的）将来の森林づくりを担う子どもたちに対し、木材利用や環境保全に対する理解を深める。 （内容）ぎふ木育に取り組もうとする教育・福祉施設等において木育教材を導入する経費の一部を支援。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率：導入経費の1/2以内（特例あり） ・木のおもちゃ等1/2以内（上限100千円） ・木製品キット1/2以内（1キット当たり3千円を補助対象経費の上限） ・ぎふ木育教室を実施する場合10/10（導入費用が20千円を超える部分は1/2）以内（1キット当たり3千円を補助対象経費の上限） ・ぎふ木育ひろば認定時10/10以内（上限100千円）、地域支援拠点認定時10/10以内（上限200千円） （理由）ぎふ木育を推進するため、各施設の負担額が1/2程度となるよう算出
補助効果	「ぎふ木育」が日常生活や保育・教育現場に浸透
終期の設定	終期令和8年度 （理由）第3期清流の国ぎふ森林・環境税の周期に合わせ、事業継続を検討する。

### (事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

令和8年度までの5年間で300施設の取組みを支援し、県内各地の保育・教育現場におけるぎふ木育の段階的・継続的な取組みを推進する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H23)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
① 導入施設数	0施設	48施設	60施設	60施設	60施設	80%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	3,544千円	3,692千円	2,312千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	幼稚園・保育園、子育て支援センター等の48施設に対し、木育教材の導入を支援し、森林やぎふの木に関心を持つきっかけとなるなど、ぎふ木育の取組みが進んだ。 指標① 目標：60施設 実績：48施設 達成率：80%
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	将来の森林づくりを担う人材のみならず、消費活動等を通じて森林づくりを支える県民を育てることにつながるため、他の各種施策の土台として事業の必要性は高い。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50~100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) 1	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、導入施設数は計画値の80%となった。引き続き、ニーズの掘り起こしや、製品の紹介等に努め、事業の活用が少ない地域に対して働きかけを行う。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	引き続き、市町村・幼稚園・保育園等の事業実施主体に対し、事業効果を説明し、補助金活用施設数を増やしていく。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 木製品キットの導入について、児童・生徒数の多い施設において事業を活用しにくいという意見があったことから、令和4年度から木製品キットの補助上限を1キット当たり改善する。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ぎふ木育を段階的・継続的に進めるためには、子どもへの体験活動の支援が欠かせない。引き続き、木育教材の導入支援に取り組んでいく。</p>
---

